

イソシギ

Actitis hypoleucos (Linnaeus)

チドリ目シギ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

河川敷や湖沼畔の草地で繁殖し、冬期もその周辺や海岸部で見られるが、近年個体数が減少している。

形態

全長20cm。翼長10～12cm。体重34～76g。頭頂から体の上面は灰黒褐色で顔から胸は白地に灰褐色の縦斑がある。腹部は白く、肩部にも白色部がくいこむ。飛翔時には白い翼帯が顕著に出る。嘴は黒褐色で基部は淡くまっすぐ、脚は黄褐色である。

国内分布

北海道から南西諸島までみられるが、繁殖しているのは九州以北である。北日本では繁殖後暖地へ移動する。

県内分布

県内では留鳥。河川の中州や河川敷、湖沼畔の草地で繁殖している。渡りの時期や越冬期には、磯浜海岸、防波堤、砂浜海岸などにも出現する。

生態

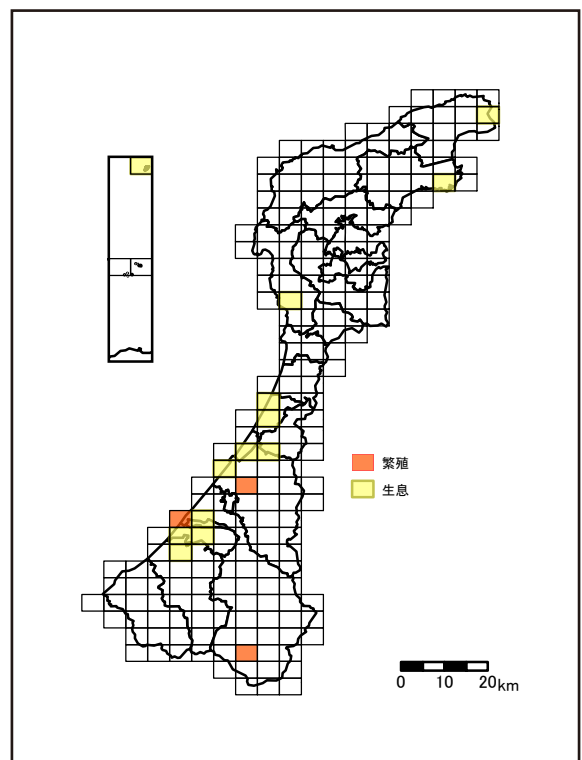
河川の中州や河川敷で4～7月に繁殖する。砂地を浅く掘って枯れ草などを集めた簡単な巣をつくり、3～4個の卵を産む。繁殖期初期には営巣地上空を鳴きながら飛び回る。抱卵期間は約23日で、孵化したヒナにはすでに綿毛がはえていて、親の保護のもと独力で採食し、25日ぐらいで独立する。餌は水生昆虫、カニ、ゴカイなどの小動物である。

生息地の条件

営巣場所は河川敷や湖沼畔の草地であるが、人間の活動圏に近い地上であるため、人間活動による悪影響を受けやすく、人為的影響が少ないことが生息地の条件となる。

生存の危機

河川敷や中州に侵入してくる4輪駆動車、オートバイ、釣り人などにより繁殖がかく乱されやすい。
(A)



県内の分布